

東北地方 1 か月予報

(1 1 月 5 日から 1 2 月 4 日までの天候見通し)

平成 1 7 年 1 1 月 4 日

仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

期間の前半は天気は数日の周期で変わるでしょう。後半は低気圧が数日の周期で通過し、通過後は一時冬型の気圧配置となる見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇や雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 か月の平均気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。




週別の気温は、1 週目、2 週目は平年並か高い、3 ~ 4 週目は平年並でしょう。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >

[気 温] 東北地方 

[降 水 量] 東北地方 

[日照時間] 東北地方 




 低い (少ない)  平年並  高い (多い)

< 気温経過の各階級の確率 (%) >

[1 週目] 東北地方 

[2 週目] 東北地方 

[3 ~ 4 週目] 東北地方 

 低い  平年並  高い

< 予報の対象期間 >

1 か月 : 1 1 月 5 日 (土) ~ 1 2 月 4 日 (日)

1 週目 : 1 1 月 5 日 (土) ~ 1 1 月 1 1 日 (金)

2 週目 : 1 1 月 1 2 日 (土) ~ 1 1 月 1 8 日 (金)

3 ~ 4 週目 : 1 1 月 1 9 日 (土) ~ 1 2 月 2 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 1 1 月 1 1 日

3 か月予報 : 1 1 月 2 4 日 (木) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	7.5	96.0	137.1	9.7	8.3	6.4
新庄	5.6	197.9	56.7	7.7	6.3	4.5
若松	6.2	76.1	84.5	8.6	7.2	5.0
深浦	6.7	149.8	62.6	9.1	7.5	5.5
青森	5.7	133.0	82.7	8.0	6.5	4.5
むつ	5.5	115.4	98.5	7.8	6.3	4.4
八戸	5.9	57.1	133.1	8.2	6.7	4.7
秋田	6.9	188.7	76.3	9.2	7.7	5.8
盛岡	5.0	90.3	113.1	7.2	5.7	3.8
宮古	7.1	79.2	145.8	9.2	7.9	6.0
酒田	8.3	231.2	72.3	10.4	9.0	7.2
山形	6.5	78.7	95.0	8.7	7.3	5.3
仙台	8.4	60.0	139.2	10.6	9.2	7.3
石巻	7.6	59.8	147.6	9.9	8.4	6.4
福島	8.2	58.7	128.4	10.5	9.1	7.1
白河	6.9	60.4	147.5	9.2	7.7	5.7
小名浜	10.1	82.5	162.5	12.2	10.9	8.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6～+0.7	80～ 107	96～ 105
東北日本海側	-0.5～+0.7	89～ 106	95～ 105
東北太平洋側	-0.6～+0.7	68～ 106	95～ 106

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6
東北日本海側	-0.6～+0.7	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.6	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10%以下や 60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 17 年 11 月 4 日 仙台管区気象台

1．出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（11 月 5 日～12 月 4 日）:

期間の前半は天気は数日の周期で変わるでしょう。後半は低気圧が数日の周期で通過し、通過後は一時冬型の気圧配置となる見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇や雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1 週目（11 月 5 日～11 月 11 日）:

明後日（6 日）から期間の中頃にかけては、気圧の谷や寒気の影響で曇や雨でしょう。期間の中頃は、東路北側では雪の降る所もある見込みです。期間の終わりは、高気圧に覆われ晴れるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2 週目（11 月 12 日～11 月 18 日）:

低気圧が数日の周期で通過し、通過後は一時冬型の気圧配置となる見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇や雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3～4 週目（11 月 19 日～12 月 2 日）:

低気圧が数日の周期で通過し、通過後は一時冬型の気圧配置となる見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇や雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

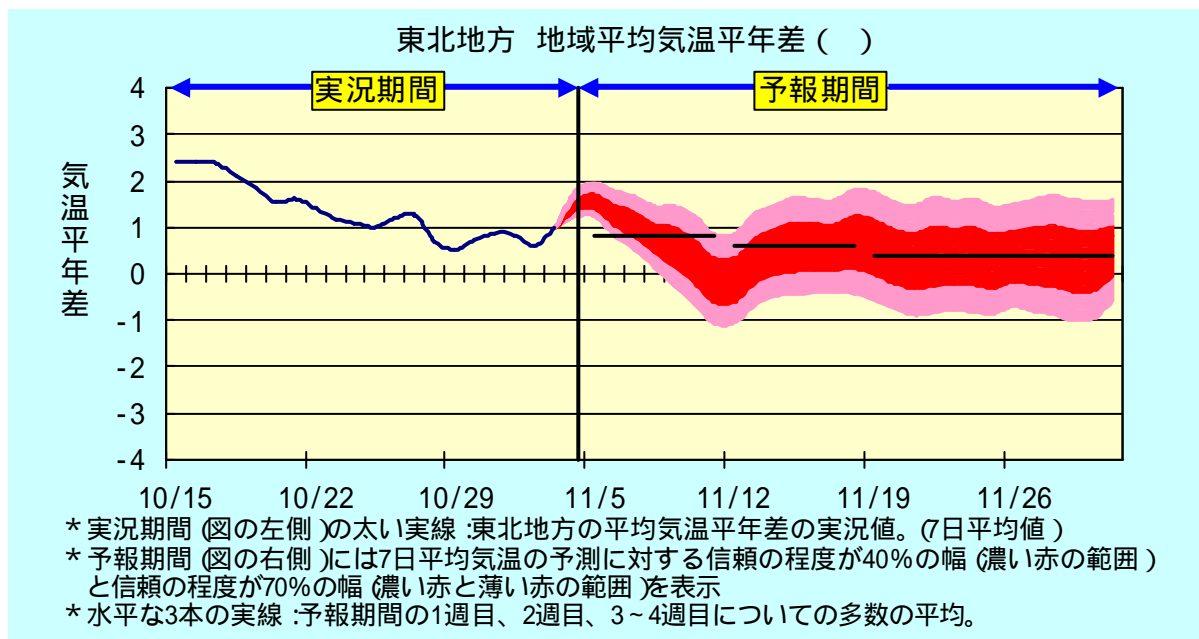
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	7.7 日	2.5 日	1.9 日	3.3 日
東北太平洋側	16.4 日	4.2 日	3.9 日	8.3 日

2．東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目は「高い」、2 週目、3～4 週目は「平年並」と予測している。予報はその他の資料などから 1 週目、2 週目を「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

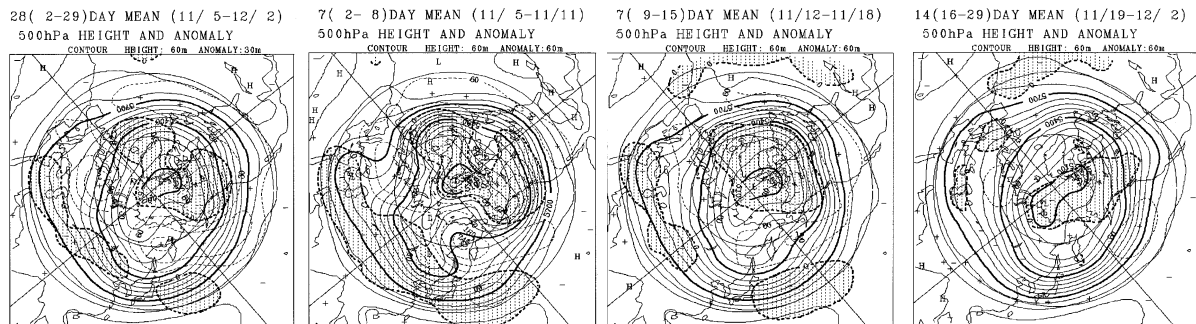


3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近は負偏差となるが極東ではオホーツク海の北を中心とした高緯度が正偏差で、カスピ海からモンゴル付近と、三陸沖から日本のはるか東海上が負偏差。日本付近は正偏差。

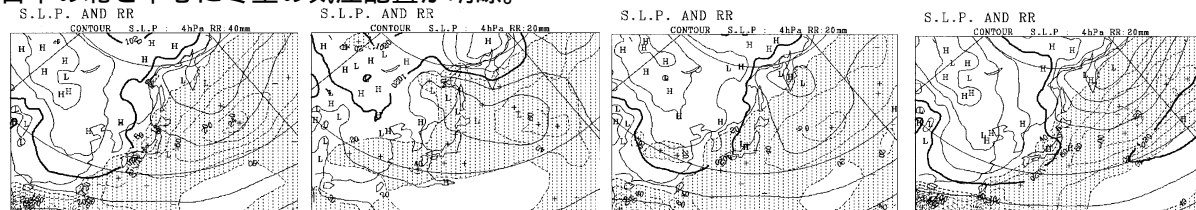
1 週目は、日本付近は大陸から日付変更線付近までの中緯度帯は東西に広がる負偏差に覆われるが、オホーツク海の北を中心とした高緯度は正偏差。2 週目は、ほぼ月平均と同様で、日本の東海上は負偏差だが、オホーツク海から日付変更線付近の正偏差が明瞭で、日本付近は正偏差に覆われる。3～4 週目は、全体的に偏差は弱い。日本付近は正偏差で、極付近は負偏差となるが、カムチャツカ半島の南に弱い負偏差があり、北日本に寒気が入りやすい。



地上気圧と降水量：

月平均では、大陸の高気圧の張り出しはほぼ平年並で、カムチャツカ半島の東の低圧部が平年に比べ弱いが、日本の東海上にかけてのびる気圧の谷がやや明瞭。弱い降水域が気圧の谷に沿って日本の南岸にのび、また、東北日本海側にもかかる。

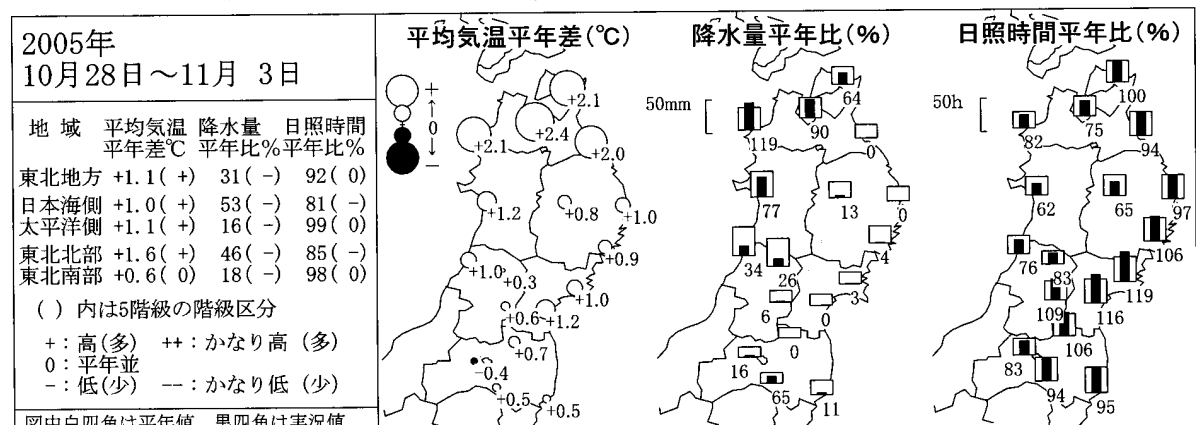
1 週目は、大陸の高気圧の張り出しは弱いが、カムチャツカ半島の北の高気圧が明瞭。北海道から日本のはるか東海上まで低圧部。2 週目は、大陸の高気圧の張り出しはほぼ平年並。カムチャツカ半島付近の低圧部が平年に比べ弱いが、日本の東海上にかけてのびる気圧の谷が明瞭。3～4 週目は、平年に比べ大陸の高気圧の張り出しが強くカムチャツカ半島の東の低圧部も明瞭で、日本の北を中心に冬型の気圧配置が明瞭。



4．最近 1 週間（10 月 28 日～11 月 3 日）の天候の経過

この期間、28日は高気圧に覆われ晴れるところが多かったが、29日～30日にかけて低気圧から伸びる前線が日本海から東北地方を通過したため曇や雨のところがあった。その後は高気圧が連続して通過し晴れるところもあったが、30日と3日は上空に寒気が入り曇のところが多かった。1日には内陸では放射冷却で気温が下がり初霜、初氷を観測したところがあった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

2005/2006年寒候期 季節現象 (初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	10.27	10.23	11.08		10.29	11.16		11.07	10.27
八戸		10.27	11.08		11.02	11.29		11.11	11.29
秋田		11.06	12.09		11.13	12.09		11.12	11.28
盛岡	10.26	10.18	10.28	11.1	10.24	10.28		11.08	11.16
大船渡		11.05	10.28		11.11	10.28		11.18	12.17
宮古		10.31	10.28		11.05	10.28		11.16	12.15
仙台		11.06	12.03		11.16	12.03		11.22	12.17
山形	11.1	10.24	10.28	11.1	10.29	10.28		11.16	12.16
酒田		11.12	12.09		11.20	12.22		11.17	12.16
福島		11.06	10.29		11.11	11.30		11.24	11.30
若松	11.1	10.28	10.29	11.1	11.06	11.24		11.17	11.30
小名浜		11.11	12.03		11.19	12.03		12.13	12.23

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハッコウダサン 八甲田山	1584		10.16	10.23	アサヒダケ 朝日岳	1870		10.19	10.28
イワキサン 岩木山	1625		10.15	10.28	カンドサン 雁戸山	1485		10.28	10.28
ハシカミダケ 階上岳	740		11.12	12.06	リュウサン 滝山	1362		10.30	10.27
タイハイサン 太平山	1170		10.31	10.27	イズミガタケ 泉ヶ岳	1175		11.06	10.27
イワテサン 岩手山	2038	10.24	10.13	10.27	ザオウサン 蔵王山	1841	10.24	10.23	10.27
ゴヨウサン 五葉山	1351		11.07	12.06	アツマヤマ 吾妻山	1949	10.23	10.21	10.27
チョウカイサン 鳥海山	2236	10.25	10.09	10.17	イイデサン 飯豊山	2105	10.24	10.17	10.16
ガッサン 月山	1984	10.26	10.15	10.18	バンダイサン 磐梯山	1819		10.24	10.27

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。